

やるぞ! SEIKO

2025. 6. 17
石川県立大聖寺高等学校
発行 No. 2

校長室からのつぶやき

チームの形態・雰囲気について

6月に入り、総合体育大会や総合文化祭も一区切りを迎えました。特に3年生の皆さんにとっては、これが最後の大会という人も多かったことでしょう。これまでの努力の成果をしっかりと発揮できましたか？思うようにいった人も、悔しさを感じた人も、それぞれに得るものがあったはずです。お疲れさまでした。

6月は、3年生の多くが部活動を引退し、受験勉強へと本格的に切り替えていく時期です。祝日や大きな行事も少ないのでこの月は、学習ペースを整えるのに適したタイミングです。生活のリズムを安定させ、学習を日々のルーティンとして着実に進めていきましょう。

部活動は新体制となり、2年生が中心となってチームを引っ張っていくことになります。先輩から引き継いだ思いを胸に、自分たちの色を出しながらよりよいチームを築いてください。

1年生の皆さんにとっては、中間考査を終え、次は期末考査や外部模試が控えています。中学校よりも科目数が増え、試験勉強に苦労している人も多いかもしれません。「どのように準備すればよい結果につながるのか」をよく考え、次回の試験に生かしていきましょう。

ところで、よく「受験は団体戦」と言われます。3年生になると、学年やクラス全体に「勉強を頑張ろう」「合格を勝ち取ろう」という雰囲気が生まれ、その空気が個人のやる気や成績に大きな影響を与えることがあります。これは部活動にも、クラス活動にも通じる考え方です。

8月末には、皆さんが楽しみにしている「聖高祭」が控えています。この行事も、クラスや団体で力を合わせて取り組む大切な機会です。共通の目標に向かって、自主的に協力し合う集団と、目標もなく気ままに行動する集団とでは、成果にも大きな差が生まれます。雰囲気や環境は、個人の努力や成長にも大きな影響を及ぼします。

そこで今回は、クラスやチームの「形態」や「雰囲気」を数学の四則演算と ± 0 にたとえて、次のように5つに分類してみました。

チーム・クラス 5つの形態・雰囲気

1	÷算チーム	足を引っ張り合い、否定的な言葉が多い
2	一算チーム	我慢ばかりで、言いたいことが言えず不満がたまる
3	±0チーム	空気のような存在で、互いに無関心
4	十算チーム	良いところを認め合い、高め合う。肯定的な言葉が多い
5	×算チーム	一人ひとりが自立し、互いに相乗効果をもたらす

皆さんのクラスや部活動は、どのタイプに当てはまるでしょうか？目指すべきはもちろん、①よりも⑤に近い「掛け算チーム」です。では、その「掛け算チーム」をつくるために必要なことは何でしょうか。

それは、「自立した個」の存在です。以下のような力が、「自立」の土台となります。

- ・自分で自分の目標を設定できる力
- ・自分で自分にモチベーション(動機づけ)をかけられる力
- ・自分のことより、チーム全体のことを考えられる力

このような力を持つ一人ひとりが集まってこそ、本当の意味で「強いチーム」が生まれます。

皆さん一人ひとりの成長が、クラスや学校全体の雰囲気をつくります。ぜひ、自分自身のあり方を見つめ直し、互いに高め合える関係を築いていきましょう。